

## 世界ワイン品評会・普通酒部門

渡辺酒造店(飛騨市)が入賞

山形市で開かれていた世界最大級のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)」の日本酒部門の審査会は18日、純米大吟醸酒など9部門で最高賞に当たる「トロフィー」を発表。純米大吟醸部門では堀江酒場(山口県)の「金雀40%」が選ばれた。普通酒部門では、渡辺酒造店(飛騨市古川町)の「小町桜 別囲い」が最高賞に迫る「県名トロフィー」を獲得した。

「奥の松あだたら吟醸」で吟醸酒部門のトロフィーに輝いた奥の松酒造(福島県)の遊佐丈治代表は「福島は風評被害のまっただ中で販売は苦戦している。評価してもらえてうれしい」と話した。

安くて高品質な「グレートバリュール・サケ」には月桂冠(京都府)の「月桂冠 特撰」など3銘柄が選ばれた。

金雀40%は2年連続のトロフィー受賞で、杜氏の堀江計全さんは「小さな蔵だが、良いものを世界に向けて造ろうというのがポリシー。認めてもらった

日本酒部門は2007年に始まり、例年はロンドンで審査会を開催している。日本開催は12年の東京都16年の神戸市以来3度目。